

作成日: 2025/06/11

確認日: 2026/04/10

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 アスクル 瞬間接着剤 液状  
 供給者の会社名 アスクル株式会社  
 住所 東京都江東区豊洲3-2-3  
 担当部門 リテール商品本部 品質向上推進 品質マネジメント  
 電話番号 0120-56-1147

電子メールアドレス qsupport@askul.co.jp

使用用途及び使用上の制限 : 金属類、ゴム類、プラスチック類及び木材類等の瞬間接着用。  
 但し難接着材(PP、PE、シリコン等)用には単独では使用できない。

## 2. 危険有害性の要約

## 【化学品のGHS分類】

## 物理的危険性

引火性液体 区分4

## 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2

皮膚感作性 区分1

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3 (気道刺激性)

上記で記載がない危険有害性は、分類できない、区分に該当しない。

## 【GHSラベル要素】

## 絵表示またはシンボル

感嘆符



## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

可燃性液体(H227)  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)  
 強い眼刺激(H319)  
 呼吸器への刺激のおそれ(H335)

## 注意書き

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙(P210)  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)  
 取り扱い後は手をよく洗うこと。(P264)  
 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)  
 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
 気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P312)  
 特別な処置が必要である。(P321)  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P333+P313)  
 目の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)  
 火災の場合: 消火するために粉末消火薬剤等を使用すること。(P370+P378)  
 換気の良い場所で保管すること。(P403)  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)  
 施錠して保管すること。(P405)  
 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名 : 2-シアノアクリル酸エチル  
慣用名又は別名 : エチル 2-シアノアクリレート、2-Cyano-2-propenoic acid ethyl ester、2-Cyanoacrylic acid ethyl ester、Ethyl alpha-cyanoacrylate

成分	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・労安法)	CAS RN®
① エチル 2-シアノアクリレート (労安法該当)	90~99	(2)-2789	7085-85-0
② PMMA (PRTR法、労安法、毒劇法に該当しない)	10以下	非公開	非公開
③ 改質剤 (PRTR法、労安法、毒劇法に該当しない)	1以下	非公開	非公開

この組成の正確な含有量や成分名等は、営業上の秘密に該当するため、非公開としています。

登録情報：エチル 2-シアノアクリレート

TSCA登録の有無 : あり  
EINECS No. : 2303915  
RTECS No. : UD3330050  
ICSC No. : 1358  
EC No. : 607-236-00-9

### 4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移し、保温して安静に保つ。速やかに医師の診断を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 無理にはがさず、お湯の中でゆっくり揉みほぐしながら剥がすこと。又は、専用のはがし液や溶剤(アセトン)を使用する。接着剤を皮膚などから急に剥がさないようにすること。  
眼に入った場合 : 清浄な水で数分間洗浄した後、すぐに医師の手当を受ける。眼をこすったり、はがし液やアセトンなどの溶剤は、絶対に使用しないこと。眼に入った場合は、特に注意すること。(角膜を損傷する可能性がある。)  
飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。ただちに、医師の手当を受ける。  
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 皮膚の発赤、軽度の火傷、眼の痛み、かすみ眼、涙目、重度の火傷、気道の痛み、咳、息苦しさ、嘔吐、頭痛  
応急処置をする者の保護に必要な注意事項 : 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
医師に対する特別な注意事項 : 症状にあわせて処置すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂類  
使ってはならない消火剤 : 棒状注水  
火災時の特有の危険有害性 : 当該製品は、[分子中にN] を含有しているため、燃焼ガスには一酸化炭素等の他、窒素化合物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。  
特有の消火方法 : 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。消火作業は風上から行う。  
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防処置 : 消火作業の際には呼吸用保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 一度に多量の接着剤を拭き取らない。布などに接着剤が多量に染み込むと急速に重合し、発熱し、刺激の有る白煙を上げる事がある。その際、皮膚に接触すると火傷を起こす。  
環境に対する注意事項 : 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。刺激性が強いため周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な処置を行う。  
封じ込め及び浄化の方法及び機材

: ポリエチレン製手袋を着用し、布などで素早く少量ずつ拭き取る。防爆仕様の機械、装置、吸引設備、器具などを使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 火気注意。皮膚を瞬間に強力に接着するため、使用に際して十分に注意すること。接着剤の硬化物が靴底に付くと滑りやすくなるので注意する。

安全取扱い注意事項 : 臭気が滞留しないように局所排気装置の設置、全体換気などを適正に行うこと。

接触回避 : 塩基性物質と接触しないように、取り扱う。

### 保管

安全な保管条件 : 塩基性物質との混在を避け、湿気の少ない冷暗所に保管する。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。

安全な容器包装材料 : ポリエチレン製容器を使用すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度等

: 日本産業衛生学会(2015年度版) 未設定

ACGIH(2015年版) TLV-TWA : 0.2 ppm

### 管理濃度

: 未設定。

### 設備対策

: 局所排気装置などの換気設備、照明機器等を使用する。

十分な洗浄設備を備えること。

十分に換気すること。

### 保護具

呼吸用保護具 : 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 : ポリエチレン製手袋、ゴム手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 : 側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じポリエチレン製前掛けなどを着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理状態

: 液体

### 色

: 無色透明～微黄色透明

### 臭い

: 特有の刺激臭(情報なし)

### 融点/凝固点

: -29.5 °C

### 沸点又は初留点及び沸騰範囲

: 190 °C以上(54～56 °C 6 mmHg)

### 可燃性

: 知見なし

### 爆発下限界および爆発上限界/

: 知見なし

### 可燃限界

### 引火点

: 83 °C (密閉式)

### 自然発火点

: 知見なし

### 分解温度

: 知見なし

### pH

: 4～6

### 動粘性率

: 知見なし

### 溶解度(水)

: 不溶

### オクタノール/水分配係数

: 知見なし

### 蒸気圧

: 1Pa以下 (25 °C)

### 密度及び/又は相対密度

: 0.9～1.1

### 相対ガス密度

: 知見なし

### 粒子特性

: 知見なし

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

: 湿気との接触がなければ安定である。

### 化学的安定性

: 高温・高湿・直射日光により、発熱を伴い、急速に重合する事がある。

### 危険有害反応可能性

: 水や塩基性化合物との接触、混入により、反応する。

### 避けるべき条件

: 湿気、火気、直射日光、高温

### 混触危険物質

: 水、アミン類、エポキシ化合物

### 危険有害な分解生成物

: 燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、シアン化水素などを発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 知見なし
急性毒性(経皮)	: 知見なし
急性毒性(吸入:蒸気)	: 知見なし
皮膚腐食性/刺激性	: 知見なし
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	: 区分2
呼吸器感作性	: 知見なし
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 知見なし
誤えん有害性	: 知見なし

(注) 知見なしは、NITEの混合物データベースより事業者判断

## 12. 環境影響情報

### 生体毒性

水生環境有害性 短期(急性)	: 知見なし
水生環境有害性 長期(慢性)	: 知見なし
残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: 知見なし

モントリオール議定書の付属書に列記された成分を含まない。

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、必須かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報「取扱いおよび保管上の注意」の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項による。廃棄する場合は、液を少量ずつ直射日光に当てるか、又は大量の水の中に徐々に滴下しながら重合、固化させて、廃プラスチックとして許可を受けた専門業者に処分を委託する。

## 14. 輸送上の注意

国連分類	: 分類基準に該当しない。
国連番号	: 分類基準に該当しない。
国内規則	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。

## 15. 適用法令

### 消防法

危険物第4類第3石油類 危険等級Ⅲ(非水溶性液体)(2000L)

### 労働安全衛生法

第57条の1(施行令第18条) 名称等を表示すべき危険物及び有害物

エチル 2-シアノアクリレート

第57条の2(施行令第18条の2) 名称等を通知すべき危険物及び有害物

エチル 2-シアノアクリレート

### 労働安全衛生規則

第594条の2 皮膚等障害化学物質 (令和6年4月1日施行)

### 化学物質管理促進法(PRTR法)

該当しない

### 毒劇法

該当しない

## 16. その他の情報

### 引用文献

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)GHS分類判定ラベル/SDS作成支援システム (VER3.0.21)  
国際簡潔評価文書(CICAD)

国際化学物質安全性カード(ICSC)

太田和夫：高分子加工・別冊7、19、63-91(1970)

一般社団法人日本化学工業協会発行「GHS対応ガイドライン」 (2019年6月)

#### その他

- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- ・ 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。
- ・ この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正される事が有ります。
- ・ 以前に取得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄してください。